

ロス対策士の皆さん

ロス対策士コミュニティのお知らせ

フェイスブックに「ロス対策士コミュニティ」を設けました。フェイスブックのアカウントをお持ちの方は、是非ご参加ください。

<https://www.facebook.com/groups/919653045344673>

八石（はちこく）俊男さんは現在68歳。スーパーマーケットやドラッグストアなど小売店を対象にした保安警備の仕事に携わっています。この仕事に就いたのはおよそ10年前ですが、それまでにさまざまな仕事を経験しています。地方公務員からスタートして・・・和菓子製造、・・・鮮魚の仲買・・・保安警備会社（25回以上転職しており、ここに書ききれません）。そして現在は高知県で個人事業主として直接小売企業と契約して保安警備の仕事をしています。

ロス対策士検定試験の受験のきっかけは保安警備の業務を行う中でどこに被害、危険があるのか、ロスがあるのかを数字でつかみだしたからだそうです。その理由は単に保安警備サービスを提供するだけでなく、顧客に最上のサービスを提供し、顧客の利益に貢献したいと考えたからなのです。

「趣味はなんですか。」の問に対して「趣味は釣りですが、ほとんど行けていません。私の生活は仕事一辺倒です。しかし、妻からはもっと働け（かせいでこい）といわれます。」と八石さんは笑って話してくれます。しかし、忙しいときは奥様や警備会社に勤めている息子さんの方が仕事を手伝ってくれるそうです。

八石さんは言います。「ロス対策士の検定試験を受験するために勉強した知識の中で不明ロスの経営への影響の大きさ、粗利益に占めるロス額（ロス分配率）についてお客様（常務や専務といった経営幹部）に話をすることがありますが、お客様はあまりロスについて十分に理解していないなど感じる場合があります。ロスが生じていることは知っており、大変だと口ではいいながら、それほど重要視しているようには思えません。これを変えなくてはならないと思います。」更に八石さんは、「ロス対策テキストにはアメリカではロス対策の責任者が経営幹部であることを知り、日本の企業もそうあるべきだと思いました。何事も教育が重要で、そのためには経営トップ幹部にロス対策の重要性を知っていただくことが最優先だと考えています。また万防機構やJ E A S（工業会日本万引防止システム協会）の資料の中からこれはというものをお客様に紹介しています。ロス対策について、少しでも関心を高めてもらいたいからです」と続けます。

八石さんは、最近終活を考えるようになってきたそうです。「自分らしく生きるのはO R Cと戦って殉職するのではないかと考えることもあります。」と真顔で言う八石さんの強い意志と熱意を感じました。

*O R C（Organized Retail Crime：組織的グループによる小売業に対する窃盗、強盗などの犯罪）

特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構
L P 教育制度作成委員会

今回からロス対策士の方々の紹介をします。(もし皆さんにインタビューの願いがきたら是非ご協力ください。)